

論文・著書（英文）

- 1) Miyamoto S, Yamashita T, Nishant R, Steven Sperry, O' Malley BW, Li D. Molecular imaging assisted surgery improves survival in a murine head and neck cancer model. *Int. J Cancer*. 131(5), 1235-1242, 2012.09.
- 2) Tamura A, Matsunobu T, Kurita A, Shiotani A. Hemophagocytic Syndrome in the Course of Sudden Sensorineural Hearing Loss. *ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec*. 74: 211–214, 2012.08.
- 3) Kamide D, Matsunobu T, Shiotani A. Facial baroparesis caused by scuba diving. *Case Rep Otolaryngol.*; 329536, 2012.02. [Epub].
- 4) Yoshimoto S, Hasegawa Y, Matsuzuka T, Shiotani A, Takahashi K, Kohno N, Yoshida T, Kitano H. Sentinel node biopsy for oral and laryngopharyngeal squamous cell carcinoma: a retrospective study of 177 patients in Japan. *Auris Nasus Larynx*. 39(1):65-70, 2012.02.
- 5) Kitamura N, Kosuda S, Araki K, Tomifuji M, Mizokami D, Shiotani A, Shinmoto H, Fujii H, Ichihara K. Comparison of animal studies between interstitial magnetic resonance lymphography and radiocolloid SPECT/CT lymphoscintigraphy in the head and neck region. *Ann Nucl Med*. 26(3):281-285, 2012.01

原著論文・総説・症例報告（邦文）

- 1) 松延毅. 【最新の診療 NAVI 日常診療必携】 炎症・感染症診療 NAVI HIV 感染 (解説/特集). *耳鼻咽喉科・頭頸部外科*. 84(5): 227-232, 2012.04.
- 2) 山下拓, 塩谷彰浩. 【目で見る咽喉頭・気管食道の検査】 咽喉頭の MRI 検査(解説/特集) *JOHNS*. 28(6): 859-865, 2012.06.

- 3) 荒木幸仁, 塩谷彰浩. 【耳鼻咽喉科手術におけるナビゲーションとモニタリング】 喉頭・音声 反回神経術中モニタリング(解説/特集) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科. 84(6): 374-380, 2012.05.
- 4) 荒木幸仁, 富藤雅之, 鈴木洋, 塩谷彰浩. 声帯内注入術 何をどこに 適応と限界 BIOPEX 注入術 (解説). 音声言語医学. 53(3): 187-193, 2012.07.
- 5) 溝上大輔, 田中伸明, 栗田昭宏, 松延毅, 塩谷彰浩. 健常成人に発生した汎発性帯状疱疹を伴うハント症候群の1例. Otol Jpn . 22: 53-57, 2012.02.
- 6) 田中伸明, 荒木幸仁, 富藤雅之, 塩谷彰浩. リン酸カルシウム骨ペーストを用いた新たな誤嚥防止手術. 嚥下医学. 1(2):385-392, 2012.10.
- 7) 田中伸明, 松延毅, 栗田昭宏, 塩谷彰浩. 顎下腺腫瘍 64 例の臨床統計. 頭頸部外科. 22(2): 193-198, 2012.10.
- 8) 田村敦, 尾崎博和, 佐田吉隆, 小林拓輝, 乾多久夫. 成人における roll 傾斜中の視覚情報が自覚的身体軸に及ぼす影響. 防衛衛生. 59(5-6): 55-61, 2012.06.
- 9) 田中雄也, 山下拓, 松延毅, 塩谷彰浩. 放射線性口腔咽頭粘膜炎に対し半夏瀉心湯が奏功した2症例. 耳鼻臨床. 105(12): 1199-1203, 2012.12.

著書 (邦文)

- 1) 塩谷彰浩. 喉頭癌. 今日の治療指針 2012 年版. pp1267-1268, 医学書院 2012.1 東京
- 2) 塩谷彰浩. 声帯を中心とした喉頭の静的動的検査法. 新編 声の検査法. 日本音声言語医学会編. pp70-75, 医歯薬出版 2012.3 東京. (第1版5冊)
- 3) 塩谷彰浩. 喉頭微細手術. 南山堂医学大辞典. 2012.
- 4) 塩谷彰浩. のどの異常への対応. 中山書店. 2012.

- 5) 塩谷彰浩. 診断と治療-嗄声. 診断と治療社. 2012.
- 6) 塩谷彰浩. 喉頭腫瘍. 今日の臨床サポート. エルゼビア. 2012.

国際学会発表

- 1) Matsunobu T, Kurioka T, Shiotani A. Inhaled hydrogen gas therapy for prevention of noise-induced hearing loss (NIHL). 35th Annual Midwinter Research Meeting of the Association for Research in Otolaryngology. San Diego, USA. 2012.04.
- 2) Mizokami D, Araki K, Tanaka N, Suzuki H, Tomifuji M, Yamashita T, Inoue M, Hasegawa M, Shiotani A. Sendai virus mediated transgene expression in the novel laryngo-tracheal stenosis model. American Laryngological Association's 2012 Spring Meeting. San Diego, USA. 2012.04.
- 3) Matsunobu T, Kurioka T, Niwa K, Kamide D, Shiotani A. Management of Sialolith: Preliminary Experience of Sialendoscopy in JAPAN. 1st International Sialendoscopy Conference, Geneva, Switzerland. 2012.03.
- 4) Matsunobu T, Shiotani A. Salivary Calculi. 1st International Sialendoscopy Conference. Geneva, Switzerland. 2012.03.(Panel Discussion)
- 5) Tomifuji M, Araki K, Yamashita T, Shiotani A. Transoral videolaryngoscopic surgery (TOVS) for supraglottic, oropharyngeal and hypopharyngeal malignancies. American Head and Neck Society. Toronto, Canada. 2012.07.
- 6) Tanaka N, Araki K, Mizokami D, Yamashita T, Tomifuji M, Ueda Y, Inoue M, Hasegawa M, Matsushita K, Nomura F, Shimada H, Shiotani A. Novel Gene Therapy for Head & Neck Squamous Cell Carcinoma - Sendai Virus Mediated FUSE Binding Protein Interacting Repressor (FIR) Therapy. The 8th International Conference on Head and Neck Cancer, American Head and Neck Society . Toronto, Canada. 2012.07.

- 7) Yamashita T, Matsunobu T, Tanaka Y, Araki K, Tomifuji M, Shiotani A. Hange-Shashin-To gargle against radiation-induced mucositis. 2012 Annual meeting of American Academy of Otolaryngology-Head and Neck Surgery Foundation. Washington, D.C., USA. 2012.09.
- 8) Araki K, Mizokami D, Tanaka N, Yamashita T, Shiotani A. Recent Advances in Laryngology 'Gene Therapy for Laryngeal Diseases'. 14th Korea Japan Joint Meeting of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery. Kyoto, Japan. 2012.04. (Symposium)
- 9) Shiotani A, Mizokami D, Kosuda S, Tomifuji M, Araki K, Yamashita T, Shinmoto H. Superparamagnetic Iron Oxide-enhanced Interstitial MR Lymphography to Detect a Sentinel Lymph Node in Tongue Cancer Patients. Collegium Oto-Rhino-Laryngologicum Amicitiae Sacrum. Rome, Italy. 2012.08.
- 10) Shiotani A. Transoral videolaryngoscopic surgery (TOVS) for en bloc resection of pharyngeal cancers. The 25th Annual Meeting of the Japan Society of Stomato-pharyngology. Kumamoto, Japan. 2012.09.(Panel Discussion)
- 11) Shiotani A. Transoral videolaryngoscopic surgery (TOVS) for en bloc resection of hypopharyngeal / supraglottic cancers. The 50th Annual Meeting of the Japan Society of Clinical Oncology. Yokohama Japan. 2012.10.(Panel Discussion)

国内学会発表

- 1) 塩谷彰浩. 経口的咽喉頭部分切除術 Transoral videolaryngoscopic surgery (TOVS). (手術手技セミナー) . 第 22 回日本頭頸部外科学会. 福島. 2012.01.
- 2) 塩谷彰浩. 経口的咽喉頭部分切除術 . (特別講演) 第 12 回大阪頭頸部腫瘍懇話会. 大阪. 2012.03.
- 3) 塩谷彰浩. 経口的に行う咽喉頭低侵襲手術.(特別講演) 日耳鼻秋田県地方部会 卒後研

修会. 秋田. 2012.03.

- 4) 塩谷彰浩. 経口的咽喉頭部分切除術 Transoral videolaryngoscopic surgery (TOVS). 耳鼻咽喉科臨床学会. 東京. 2012.07.
- 5) 塩谷彰浩. 経口的咽喉頭部分切除術 TOVS. (特別講演) 日耳鼻山梨県地方部会学術集会. 甲府. 2012.12.
- 6) 松延毅, 福森崇之, 田中伸吾, 宮川義弘, 上出大介, 山下拓, 塩谷彰浩. 頸部に発生した Myxofibrosarcoma の 1 例. 第 22 回日本頭頸部外科学会. 福島. 2012.01.
- 7) 原田栄子, 富藤雅之, 田中伸吾, 荒木幸仁, 松延毅, 塩谷彰浩. 喉頭静脈奇形に対して硬化療法を施行した一例. 第 56 回防衛衛学会. 東京. 2012.02.
- 8) 田中伸明, 荒木幸仁, 溝上大輔, 富藤雅之, 塩谷彰浩. 新たな経口的誤嚥防止手術—両側声門 BIOPEX 注入による声門閉鎖術. 第 35 回日本嚥下医学会. 高知. 2012.02.
- 9) 山下 拓, 荒木幸仁, 富藤雅之, 松延毅, 溝上大輔, 田中伸明, 田村敦, 上出大介, 田中伸吾, 姫野哲宏, 福森崇之, 田中雄也, 瀧端早紀, 塩谷彰浩. 当科における頸部郭清術. 第 1 回埼玉県頭頸部腫瘍セミナー. 大宮. 2012.03.
- 10) 富藤雅之, 荒木幸仁, 塩谷彰浩. 喉頭癌に対する経口的切除術(シンポジウム 喉頭癌治療の現状と展望). 第 24 回喉頭科学会. 金沢. 2012.03.
- 11) 宇都宮一步, 東川雅彦, 小橋祐子, 櫛原健吾, 中井健. 音声改善手術の長期経過後に生じた嚥下障害の 1 例. 第 320 回日耳鼻大阪地方会. 大阪. 2012.03.
- 12) 宇都宮一步, 東川雅彦, 小橋祐子, 櫛原健吾, 中井健. 音声改善手術の長期経過後に生じた嚥下障害の 1 例. 第 24 回日本喉頭科学会. 金沢. 2012.03.
- 13) 富藤雅之, 荒木幸仁, 塩谷彰浩. 喉頭癌レーザー手術ここまでできる—最小限の切除から最大限の切除まで. 第 33 回東日本音声外科研究会. 東京. 2012.04.
- 14) 荒木幸仁. 防衛医科大学校における喉頭癌・下咽頭癌に対する機能温存治療. (特別講演) 大田区喉頭がん検診—精度管理研修会. 大森. 2012.04.

- 15) 丹羽克樹, 松延毅, 栗岡隆臣, 田村敦, 上出大介, 塩谷彰浩. ゲンタマイシン耳毒性に対する半夏瀉心湯の内耳保護効果. 第 113 回日本耳鼻咽喉科学会総会. 新潟. 2012.05.
- 16) 山下拓, 松延毅, 荒木幸仁, 富藤雅之, 溝上大輔, 田中伸明, 田村敦, 上出大介, 丹羽克樹, 田中伸吾, 姫野哲宏, 福森崇之, 田中雄也, 瀧端早紀, 塩谷彰浩. 頭頸部癌化学放射線療法における半夏瀉心湯を用いた補助療法 - 粘膜炎の軽減,完遂率向上を目的として-. 第 113 回日本耳鼻咽喉科学会総会. 新潟. 2012.05.
- 17) 塩谷彰浩. 中・下咽頭癌の経口的切除術 経口的咽頭部分切除術(Transoral Videolaryngoscopic Surgery;TOVS). 耳鼻咽喉科臨床学会. 東京. 2012.06.
- 18) 山下 拓. DNA 修復阻害によるシスプラチン増感治療. 第 6 回頭頸部癌基礎研究会. 島根. 2012.06.
- 19) 山下拓, 富藤雅之, 荒木幸仁, 塩谷彰浩. 中咽頭癌に対する経口的切除術 TOVS. 第 36 回日本頭頸部癌学会. 島根. 2012.06.
- 20) 山下拓, 荒木幸仁, 富藤雅之, 宮川義弘, 塩谷彰浩. Transoral Videolaryngoscopic Surgery (TOVS)による舌根部へのアプローチ法. 第 11 回表在癌研究会. 東京. 2012.06.
- 21) 富藤雅之, 荒木幸仁, 山下拓, 塩谷彰浩. 咽頭癌経口的切除症例における放射線療法非追加例の検討. 第 36 回日本頭頸部癌学会. 島根. 2012.06.
- 22) 今西順久, 羽生昇, 大塚邦憲, 佐藤陽一郎, 富田俊樹, 小川郁, 塩谷彰浩. 下咽頭癌・声門上癌における頸部リンパ節転移制御からみた経口的部分切除術の適応限界の検討. 第 36 回日本頭頸部癌学会. 島根. 2012.06.
- 23) 谷合信一, 埜瑞穂, 佐藤妙子, 柴本勇. 介護予防事業参加者の口腔運動機能・発声機能の検討. 第 13 回日本言語聴覚学会. 福岡. 2012.06.
- 24) 佐藤友貴, 谷合信一, 柴本勇, 新美成二. 頸動脈小体腫瘍摘出術後の嚥下障害に対して,長期的に訓練し常食摂取に至った一例. 第 13 回日本言語聴覚学会. 福岡. 2012.06.
- 25) 田中伸明, 荒木幸仁, 溝上大輔, 山下拓, 富藤雅之, 上田泰次, 井上誠, 長谷川護, 松

- 下一之, 野村文夫, 島田英昭, 塩谷彰浩. センダイウイルスベクターを用いた c-myc 遺伝子転写抑制因子 FIR による新たな頭頸部癌遺伝子治療. 第 36 回日本頭頸部癌学会. 島根. 2012.06.
- 26) 田中雄也, 山下拓, 松延毅, 塩谷彰浩. 放射線性口腔咽頭粘膜炎に対し半夏瀉心湯が奏功した 2 症例. 第 74 回耳鼻咽喉科臨床学会. 東京. 2012.06.
- 27) 福森崇之, 山下拓, 富藤雅之, 荒木幸仁, 塩谷彰浩. 当科における下咽頭癌の臨床統計. 第 36 回日本頭頸部癌学会. 松江市. 2012.06.
- 28) 福森崇之, 山下拓, 富藤雅之, 荒木幸仁, 塩谷彰浩. 当科における下咽頭癌の臨床統計. 第 111 回日耳鼻崎玉県地方部会. 大宮市. 2012.06.
- 29) 前田真由香, 原田栄子, 富藤雅之, 田中伸吾, 鈴木洋, 荒木幸仁, 松延毅, 塩谷彰浩. 喉頭静脈性血管奇形に対して硬化療法を施行した 1 例. 五大学頭頸部外科研究会. 東京, 2012.07.
- 30) 中森祐里和, 福森崇之, 上出大介, 松延毅, 菊地良子, 塩谷彰浩. 急速に増大し呼吸困難をきたした良性甲状腺腫瘍の一例. 五大学頭頸部外科研究会. 東京. 2012.07.
- 31) 松延毅, 栗岡隆臣, 丹羽克樹, 川内聡子, 田村敦, 佐藤俊一, 塩谷彰浩. レーザーを用いた新しい内耳爆傷動物モデル. 第 1 回耳鳴・難聴カンファレンス. 東京. 2012.08.
- 32) 山下拓, 松延毅, 荒木幸仁, 富藤雅之, 田中雄也, 塩谷彰浩. 頭頸部癌化学放射線療法による口内炎に対する漢方治療. 第 25 回日本疼痛漢方研究会 ワークショップ. 東京, 2012.08.
- 33) 山下拓, 松延毅, 荒木幸仁, 富藤雅之, 田中雄也, 塩谷彰浩. 頭頸部癌化学放射線療法による口内炎に対する漢方治療. 第 25 回日本疼痛漢方研究会ワークショップ. 2012.08.
- 34) 富藤雅之. 咽喉頭がんに対する Transoral Surgery. 第 6 回香川頭頸部がん治療セミナー. 高松. 2012.09.
- 35) 松延毅. 臨床セミナー 唾液腺診療の新しい流れ—内視鏡を用いた低侵襲手術の現状

と展望一. 日本口腔・咽頭科学会学術講演会. 熊本. 2012.09.

- 36) 前田真由香, 松延毅, 富藤雅之, 栗岡隆臣, 田中伸吾, 塩谷彰浩. 副耳下腺に発生したと考えられた悪性腫瘍の2症例. 第25回日本口腔咽頭科学会. 熊本. 2012.09.
- 37) 田村敦, 松延毅, 丹羽克樹, 栗岡隆臣, 川内聡子, 佐藤俊一, 塩谷彰浩. 音響外傷に対する低出力レーザー照射による内耳保護効果の検討. 第22回日本耳科学会. 名古屋. 2012.10.
- 38) 松延毅. (パネルディスカッション) 内耳基礎研究の新展開: 光散乱計測による蝸牛の viability のリアルタイム評価法の開発. 第22回日本耳科学会学術講演会. 名古屋. 2012.10.
- 39) 溝上大輔. 長寿社会における機能予後を考えた救急医療: 救命センターにおける高齢者の廃用性嚥下障害. 第1回多摩救命救急カンファレンス. 東京. 2012.10.
- 40) 溝上大輔, 小須田茂, 荒木幸仁, 富藤雅之, 藤井博史, 北村直人, 塩谷彰浩. 頭頸部間質内 MR リンパ造影と放射性コロイド SPECT/CT 動物実験と舌癌患者による比較検討. 日本核医学会学術総会. 札幌. 2012.10.
- 41) 丹羽克樹, 松延毅, 栗岡隆臣, 田村敦, 上出大介, 塩谷彰浩. ゲンタマイシン耳毒性に対する半夏瀉心湯の内耳保護効果. 第57回日本聴覚医学会学術講演会. 京都. 2012.10.
- 42) 栗岡隆臣, 松延毅, 丹羽克樹, 川内聡子, 田村敦, 佐藤俊一, 塩谷彰浩. レーザーを用いた新しい内耳爆傷動物モデル. 内耳研究会. 京都. 2012.10.
- 43) 福森崇之, 富藤雅之, 田中伸吾, 山下拓, 荒木幸仁, 塩谷彰浩. 披裂軟骨脱臼の2症例. 第57回日本音声言語医学会. 大阪. 2012.10.
- 44) 田中雄也, 富藤雅之, 塩谷彰浩. 複数回経口的切除を行った下咽頭脂肪肉腫の1例. 第18回北関東頭頸部腫瘍研究会. 大宮. 2012.10.
- 45) 宇都宮一步, 松延毅, 福森崇之, 上出大介, 田中伸明, 森健太郎, 塩谷彰浩. 顔面麻痺を初発症状とした側頭骨錐体部 epidermoid cyst の1例. 第112回日耳鼻埼玉地方部会. さいたま. 2012.10.

- 46) 高橋洋一郎, 溝上大輔, 富藤雅之, 福森崇之, 塩谷彰浩. 経口的に切除し得た喉頭顆粒細胞腫の1例. 第112回日耳鼻埼玉県地方部会. さいたま. 2012.10.
- 47) 大森智裕, 三木啓全, 谷合信一, 穴水幸子, 加藤元一郎. 前脳基底部健忘症例に対する「reality orientation & self awareness movie」を用いた認知リハビリテーション. 第22回認知リハビリテーション研究会. 東京. 2012.10.
- 48) 山下拓, 富藤雅之, 荒木幸仁, 塩谷彰浩. 中咽頭癌に対する経口的切除術 Transoral Videolaryngoscopic Surgery (TOVS). 第14回手術支援システム・ナビ研究会. 東京. 2012.11.
- 49) 山下拓, 富藤雅之, 荒木幸仁, 塩谷彰浩. (シンポジウム) 咽喉頭領域のセンチネルリンパ節研究. 第64回日本気管食道科学会総会. 東京. 2012.11.
- 50) 溝上大輔, 富藤雅之, 荒木幸仁, 塩谷彰浩. 有茎舌骨弁による喉頭・気管狭窄治療. 第64回日本気管食道科学会総会. 東京. 2012.11.
- 51) 田村敦, 松延毅, 栗田昭宏, 塩谷彰浩, 和田佳郎. 身体roll傾斜時における自覚的身体軸方向の評価: 視覚法と頭位法の比較. 第71回日本めまい平衡医学会. 東京. 2012.11.
- 52) 松延毅. (セミナー) 唾液腺管内視鏡を用いた新しい低侵襲手術. 第57回日本唾液腺学会. 東京. 2012.12.